

品質衛生管理を徹底したパッケージ製品を安定供給

ダイシン化工株式会社 奈良県奈良市

プラスチックの真空成型・圧空成型等を手掛けけるダイシン化工株式会社は、食品関連を中心に多種多様なパッケージを生産。生産現場での徹底した品質衛生管理の追及、安全性確保・省資源化等に取り組み、準クリーンルーム下で安全・安心な食品パッケージを生産している。

“お客さまの望むものをより速く、最高の品質と競争力のあるコストで提供する”という基本方針に基づき、機械化の推進や生産システム全体のコンピュータ管理、24時間体制のジャスト・イン・タイムの追求、様々な分野での経営管理のレベルアップなどを図ってきた。

会社概要



会社名：ダイシン化工株式会社
所在地：奈良県奈良市杏町 203-1
電話：0742-62-7951（代）
FAX：0742-62-5351
創業：昭和54年11月
設立：昭和58年11月
代表者：代表取締役 真柴 幸雄
資本金：3,600 万円
従業員：160 名

事業：真空・圧空成型品の企画・生産及び販売、包装関連資材の企画・生産及び販売、製品の充填及び受託包装等
URL：<http://www.daishinkk.co.jp/>
E-mail:info@daishinkk.co.jp



同社が生産している様々なパッケージ
◎食品・冷凍食品・工業用品・電子部品（上段）
◎医療部外品・化粧品・日用品・学用品（下段）

理想の会社づくりを追求し続ける

プラスチックの真空成型・圧空成型等を手掛けけるダイシン化工株式会社は、あらゆる樹脂を用いて食品パッケージを中心に、日用品・工業部品から医療用トレー、IC用トレー、ブリストーパッケージまで多種にわたり生産している。

昭和54年11月、真柴社長は「頑張った者が報われる企業を作りたい」と願ってダイシン化工を親族3人で創業し（同58年11月に法人化）、理想の会社作り、人づくりに取り組んできた。

同社は、パッケージの需要拡大や機能性・品質等の高度化ニーズに対応し、各種成型機の導入を進めてきたほか、生産管理システム（平成10年）及び営業管理システム（同17年）を導入すると共に、品質管理徹底のためにISO9001を、環境保全のためにISO14001を認証取得し、経営管理のレベルアップを図ってきた。また、14年に菓子製造許可工場認定により充填ラインを開始し、15年には東京営業所、関東物流センターを開設して取引先対応の強化に努めてきた。

真柴社長は「誠心誠意、真心を込めて業務に取り組んできました。創意工夫を重ねることで品質衛生管理の向上や短納期化を図り、他社が嫌がるような仕事も請け負いました。そのおかげで資材調達先や販売先から新たな取引先を紹介してもらうことができました」と語っている。



5Sが行き届いた同社工場



■ 確かな製品を安定供給できる体制づくり

“お客さまの望むものをより早く、最高の品質と競争力のあるコストで提供する”という基本方針に基づき、加工から完成まで生産システム全体を総合的に統括することにより、生産効率アップによる大幅なコストダウンを推進し、優れた専門技術や設備、CADによる設計・開発、一貫したコンピュータ管理等を積極的に進めている。

また、24時間体制のもと多頻度・定時配達体制を整え、ジャスト・イン・タイムを追求し、クイックデリバリーの要求に対応している。

●徹底した品質衛生管理

ISO・HACCPの考え方を視野に入れながら、生産現場での徹底した品質衛生管理の追及、安全性確保・省資源化等に取り組み、準クリーンルーム下で安全・安心な食品パッケージを生産している。

異物の侵入を完全にシャットアウトし、清掃・手洗いの励行、清潔な服装、衛生管理を徹底・実践している。大手コンビニの認定工場になっていることから、その水準の高さがうかがえる。

真柴社長は「食品そのものを作っているのと同じ感覚（食品と同等の衛生基準、管理基準に近い環境）でパッケージを生産しています」と、同社の品質衛生管理に自信を持っている。

品質管理対策として、①自動除塵包装機の全ラインへの設置、②金属探知機の設置、③トレーサビリティ（生産履歴）対応を行っている。

自動除塵包装機は、社長の発案をもとに自社開発されたもので、同一機内でエアープロー除塵と



自社開発した「自動除塵包装機」

袋詰作業ができ、作業の簡略化・効率化が可能。競合他社にも出荷されている（累計約150台）。

衛生管理対策として、①電石帽・布製頭巾タイプ帽子・帯電防止服の正しい着用、②粘着ローラー掛けの実施（更衣室・工場内入場時の2回、巡回チェック）、③エアーシャワー及びアルコール消毒、④工場入口ドア二重扉、⑤工場内遮光シート・嫌虫灯の設置などを実施している。



エアーシャワー室

巡回チェック

●6S運動 (CCD活動) を通じ独自の品質管理をサポート

社内にCCD（クリーン・チアフル・ダイシン）委員会を設け、5Sに安全を加えた独自の6S運動に全社で取り組んでいる。生産現場の改善提案にも積極的に取り組み、強い企業体質づくりと人間形成に努めている。



積極的な改善提案

本社周辺の清掃活動

●全社的な環境対策・リサイクル対策

プラスチック廃棄物の抑制とリサイクル推進を重要テーマに掲げ、クリーンで安全なリサイクル製品の開発・実用化など省資源・環境対策を推進している。定期的に周辺の道路清掃活動を積極的に行い、地域社会の美化にも取り組んでいる。

■ 更なる成長に向けて

真柴社長は「食品以外の分野（電子部品・精密部品等）の生産拡大にも力を入れています。また、消費地としても有望な市場である中国にグループ会社の烟台大真商貿有限公司を設立し、その基盤固めを行っています」と、更なる成長機会の獲得を目指している。

（島田、山城）